

様式第 9 号（第 5 条関係）

令和 7 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市北木島町 3 8 0 2 番地－ 4 3
協 議 会 名	北木島まちづくり協議会
協 議 会 長 名	会長 畑中英作

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 6 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 115 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第 5 条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 1, 044, 925 円
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額（Ⅰ）	変更交付申請額（Ⅱ） (交付金決算額)	返還額 (Ⅰ)－(Ⅱ)
1, 050, 000	1, 044, 925	5, 075

- 2 交付金が減額変更になった理由

見積り額より安く買えたから

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書（様式第 1 0 号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書（様式第 1 1 号）
- (3) 支払書類（レシート等）の原本
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第10号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書

協議会名 北木島まちづくり協議会

実施期間		令和 6 年4月1日 から 令和 7 年3月31日 まで		
開催結果	会議の種類	開催結果		
	総会 ※または総会に準ずるもの	開催時期： 5 月， 開催形式： 対面		
	その他会議	開催回数： 4 回 会議の種類： 総会 1 回 理事会 1 回 3 役会 2 回		
活動費の活動結果	活動名	活動実施による成果及び課題		具体的な活動内容
	自主防災	成果	保存食料、簡易防寒具を各地区に配備し、いざという時の為に、必要な物品購入など地域の人々が困らないように尽力した。	保存食料、簡易防寒具を各地区に配備出来た。
		課題	賞味期限切れの保存食料配布の仕方。	
	広報活動	成果	活動実績を広報誌を発行する事で、地域の方々に活動内容の周知と、参加意識がましました。	広報誌発行回数：5回 内容：各活動報告等 配布（広報）方法：回覧及び主要箇所への掲示 ホームページへの掲載：無し
		課題	活動報告内容を増やして、広報誌を充実させる。	
		成果		
		課題		
		成果		
課題				

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

活動費の活動結果	活動名	活動実施による成果及び課題		具体的な活動内容
		成果		
		課題		
		成果		
		課題		
		成果		
		課題		
	行政間連携事業	成果		
		課題		
	行政間連携事業	成果		
		課題		

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

様式第 1 1 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書

協議会名 北木島まちづくり協議会

【収入の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金(①+②)	(Ⅰ) 1,050,000	1,050,000	0	
①市交付金	1,000,000	1,000,000	0	
②市交付金加算枠	50,000	50,000	0	
広報活動	50,000	50,000	0	広報発行数：年 5 回 交付金の種類：運営 交付金
まちづくり計画策定		0	0	策定期間： 交付金の種類：交付金
行政間連携事業		0	0	
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
計	1,050,000	1,050,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
人件費	800,000	800,000	0	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
賃借料		0	0	〃
光熱水費		0	0	〃
運営費	129,000	124,775	4,225	
消耗品費	59,000	63,070	△ 4,070	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
食糧費	22,000	9,015	12,985	〃
印刷製本費		0	0	〃
修繕料		0	0	〃
通信運搬費	22,000	0	22,000	〃
手数料		0	0	〃
使用料及び賃借料	26,000	36,580	△ 10,580	〃
旅費		16,110	△ 16,110	〃
		0	0	〃
活動費	121,000	120,150	850	
自主防災	64,000	63,995	5	別紙「【活動費】積算資料①」のとおり
広報活動	57,000	56,155	845	別紙「【活動費】積算資料②」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料③」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料④」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑤」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑥」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑦」のとおり
行政間連携事業	0	0	0	
		0	0	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑩」のとおり
		0	0	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑪」のとおり
			0	
			0	
計	1,050,000	1,044,925	5,075	決算額のうち市交付金分 (Ⅱ) 1,044,925

市交付金の返還額

(Ⅰ) - (Ⅱ) 5,075 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

運宮費

人件費

1

[illegible]

出 納 簿

運営交付金

運宮費

消耗品費

1

[illegible]

出 納 簿

交付金区分	運営交付金	
活動名	運営費	
費目	需用費	食糧費
No.	1	

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	6	19	ハローズ	協働のまちづくり課出張2人分	1,049	1,049
2		6	19	コスモス	天然水1ケース、お茶2ケース	5,156	6,205
3	7	2	2	すき家	事務説明会昼食代金	650	6,855
4		3	3	ストアつるた	会議用飲料	2,160	9,015
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						9,015	

出 納 簿

交付金区分 運営交付金

活動名 運営費

費目 使用料及び賃借料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1		5	7	セゾンリース	延滞金	500	500
2		5	7	セゾンリース	シャープ複合機リースR6年分（自払い）	11,880	12,380
3		7	4	ライフカードカブ	シャープ複合機リース1年間（自払い）	24,200	36,580
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						36,580	

運宮交付金

運宮費

旅費

1

[illegible]

事業費計

四

63, 995

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回＝15,400円
計	0	

[illegible]

事業費計

56, 155

月

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
広報誌打合せ旅費（会長）	1,760	北木島、笠岡往復 880円×2回＝1 7 6 0 円
広報誌打合せ旅費（事務局）	1,760	北木島、笠岡往復 880円×2回＝1 7 6 0 円
備品購入時フェリー代金	930	
計	4,450	

[illegible]

計	20,915	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
書類郵便代金	180	郵便代金
書類郵便代金	180	郵便代金
書類郵便代金	110	切手代
書類郵便代金	140	郵便代金
書類郵便代金	180	資料送付郵便代金
計	790	

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

委託費

内 容	金 額	積 算
広報誌作成委託料	30,000	広報紙委託料 エフ・プランニング
計	30,000	

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 1

協議会名	北木島まちづくり協議会
活動名	自主防災

活動目的	島内にまちづくり協議会の活動を知ってもらうことで、各活動の透明性を担保すると共に、活動に参加してもらう。
活動内容	活動の透明性を担保。島内全域においての協力体制の確保。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
保存食料、簡易防寒具を各地区に配備し、いざという時の為に、必要な物品購入など地域の人々が困らないように尽力した。	賞味期限切れの保存食料配布の仕方。
今後の活動の方向性・改善策 予算内で何を重点的にやるか、何が必要なのか、議論を活発にする。地域住民、関係団体と連携強化をはかる。	

自己評価シート

（ 令和 6 年度 ）

No. 2

協議会名	北木島まちづくり協議会
活動名	広報活動

活動目的	島内にまちづくり協議会の活動を知ってもらうことで、各活動の透明性を担保するとともに、活動に参加してもらう。
活動内容	活動の透明性を担保。島内全域における協力体制の確保。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
活動実績を広報誌を発行する事で、地域の方々に活動内容の周知と、参加意識がましました。	活動報告内容を増やして、広報誌を充実させる。
今後の活動の方向性・改善策 広報誌の内容の充実。発行に関わる人材を確保すること。	